

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 22 年 11 月 4 日 (2010.11.4)

【公開番号】特開 2009-144971 (P2009-144971A)
 【公開日】平成 21 年 7 月 2 日 (2009.7.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-026
 【出願番号】特願 2007-322068 (P2007-322068)
 【国際特許分類】

F 2 5 C 1/22 (2006.01)

F 2 5 C 1/04 (2006.01)

【F I】

F 2 5 C 1/22 3 0 3 B

F 2 5 C 1/04 3 0 1 B

F 2 5 C 1/04 3 0 2 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 9 月 16 日 (2010.9.16)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

製氷皿 (1) と、給水ユニット (2) と、その給水ユニット (2) の開放位置と閉塞位置を検出する電子センサ (11a、11b) と、給水ユニット (2) の動作を制御する制御基板 (8) とを備えたセル型製氷機において、

上記制御基板 (8) に、又は、上記制御基板 (8) に近接して設けた上記電子センサ (11a、11b) と、上記給水ユニット (2) との間に、上記給水ユニット (2) から上記電子センサ (11a、11b) 及び上記制御基板 (8) に向けて水が飛散するのを防止する遮蔽体 (6) として、上記給水ユニット (2) を開閉させるギアを収納したギアボックス (6) を設けたことを特徴とする製氷機。

【請求項 2】

上記電子センサ (11a、11b) が、上記給水ユニット (2) の開放位置と閉塞位置の両位置に対応して設けられた磁気センサ (11a、11b) と、上記給水ユニット (2) とともに揺動しつつ、上記両位置で上記磁気センサ (11a、11b) と対向するように配置された磁石 (10) とから構成されることを特徴とする請求項 1 に記載の製氷機。

【請求項 3】

上記電子センサ (11a、11b) を水濡れ防止用のカバー (13) で覆ったことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の製氷機。